

令和 2 年度 第 3 回宮崎支部評議会の概要報告（速報）

開催日時	令和 2 年 1 2 月 1 1 日（金） 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 5 5
開催場所	宮崎支部会議室
出席者	川野評議員、佐藤評議員、塩月評議員、高橋評議員、谷口評議員、長鶴評議員、松浦評議員、谷田貝議長（五十音順）
議題	(1) 令和 2 年度宮崎支部上半期事業実施結果報告について (2) 第 1 0 7 回運営委員会の報告について
議事概要（主な意見等）	(1) 令和 2 年度宮崎支部上半期事業実施結果報告について ■資料に沿って事務局より説明 ■主な意見や質問など 《企画総務グループ》 (被保険者代表) ジェネリック医薬品関係で、乳幼児医療の負担元である自治体・担当部署に働きかけはしているのか。 (事務局) 宮崎市では、乳幼児・3 歳児健診等でジェネリックのチラシを一緒に配ってもらって、広報を行っている。 (被保険者代表) 出来るだけ多くの自治体で実施していただきたい。 (学識経験者) 診療種類別ジェネリック医薬品の使用割合で、医科入院（診療所）が低いが、今後、使用割合を上げて行く上でここがポイントになると思う。開業医の先生達に十分理解してもらおうところから始めないといけない。 (事務局) ジェネリック医薬品使用促進緊急対策期間に医療機関・調剤薬局を訪問し、病院長・ドクター・薬剤師等の話を聞いたが、真剣に取り組んでいる医療機関等もあれば、経営のことを考えてなかなか出ていない医療機関もあった。 (学識経験者) 医師会としては、ジェネリック医薬品に対して、どういう方針でいるのか。 (事務局) 県医師会の会長は、個人的にはジェネリック医薬品推進と仰っているが、宮崎支部としての医師会への働きかけはまだ足りていない。それについては、県にも後押しをしていただければと感じるところである。

## 【機密性 2】

### 《保健グループ》

(学識経験者)

特定健診において、宮崎県では自治体との連携があまり進んでいないということだが、行政への働きかけ等を行っているのか。

(事務局)

協会けんぽから全自治体に協会の被扶養者も一緒に特定健診を受けられる環境を作るよう打診はしてきたが、当初は、保険者が違うのでそれぞれで実施をという反応の方が大きかった。その後、地道に働きかけていて現在は6自治体と連携が出来ている。

(被保険者代表)

生活習慣病予防健診で、コロナの影響で健診を延期している場合や受けられない場合があると思うが、こういったことが続くと来年の受診を申し込んでも受けられないのではと懸念をしているがどういうふうに考えているのか。

(事務局)

健診の時期がずらされたであるとか、結果的に3月を過ぎて2年度の健診が受けられなかったということもあるかもしれないが、全体の受診率を見た時、前年度との比率で今現在8割くらいとなっており、特定健診ほどはコロナの影響を受けていない状況ではある。

### 《レセプトグループ》

(事業主代表)

マイナンバーと健康保険証が一体化になった時は、どういう事が想像されるか。

(事務局)

マイナンバーカードが確実に保険証の役割をして、医療機関もインフラが整い資格の有無が確認できる状況が整えば、多くの喪失後受診は無くなると思う。ただ、資格喪失の記録が即時マイナンバーカードに反映される訳ではなく、資格喪失届等の提出が遅れたり、返戻があった場合には資格記録の確認が確実にできず、無資格受診が発生することはあると思う。

### 《業務グループ》

(学識経験者)

郵送による申請書等の提出で、今後、Web申請・オンライン申請を取り入れていくような予定はないのか。

(事務局)

本部としても検討課題としては認識している。まだ具体的に進める話までは至っていない。

(学識経験者)

Web申請は、今後の在り方の一つで、郵送の場合切手代が掛かるので、出来れば前向きに検討にしていきたい。

## (2) 第107回運営委員会の報告について

■資料に沿って事務局より説明

## 【機密性 2】

### ■主な意見や質問など

(事業主代表)

IT化の検討というのは進めているのか。いずれはペーパーレスとなるのが本当の姿と思うが、どう  
いう体制になっていくのか。

(事務局)

IT化という意味では、本部システム部が担当しているが、資料2-3の次期システム構想で更に進  
んでいくと思われる。システムの開発そのものは本部で行うが、支部で行う業務に係るものもあるの  
で、本部と支部で連携して行っていく。また、現行システムにおいてもRPAなどを導入し、IT化を進  
めている。次期システムは、まだ全容が明らかにされていないが、これから情報があればお示ししてい  
きたい。

(学識経験者)

インセンティブ制度で、宮崎支部は12位だが、特定健診の実施率(40位)が明らかに足を引っ張  
っている。ここを上げるともっと上位になれると思う。これからコロナで健診の難しい状況がしばら  
く続くと思うが、その中で何ができるか知恵を絞っていただき、ぜひ頑張ってください。

(事務局)

難しい状況だが、工夫して取り組んでいきたい。今回12位ではあるが取り組み次第で、もっと上が  
る要素があると前向きに捉えて進めていく。

(学識経験者)

戦略的保険者機能関係の、コラボヘルスの推進でメンタルヘルスの予防対策の充実の検討(新)と  
は、どの様な感じで考えているのか。宮崎支部としてメンタルの問題にどう取り組んでいくのか。

(事務局)

メンタルヘルスの予防対策の件については、本部の保険者機能強化アクションプラン5期の中で、  
まずは本部で検討を始め支部での実施は令和5年頃になるということであった。

(学識経験者)

宮崎でも女性の自殺率が昨年に対して上がったということがある中で、本部の検討を待つ事も必要  
かもしれないが、目の前でそういう数字が出ているので、支部でも早速ご検討されるようお願いした  
い。

(事務局)

研修会等を実施すると、健康保険委員等からメンタルヘルスの研修を増やして欲しいとの声をいた  
だくことが多くあった。これは検討したい。

### 特記事項

- ・ 次回の評議会は、令和3年1月15日に開催予定